Panasonic

保証書別添付

保　管　用

充電 ドリルドライバー

品番 EZ7440LZ2S・EZ7440LN2S・EZ7440X

取扱説明書

《プロ用》

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2〜5ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

ご使用前に
安全上のご注意 ..... 2〜5
各部のなまえ 6
付属品・別売品 7

使いかた
充電する ..... 8〜9
準備〜作業 ..... 10〜13
作業終了 14
引掛フックの使いかた ... 14〜15
LEDライトの使いかた 16

お手入れ・保管
お手入れ・保管 16

お知らせ
電池パックについて 17
能力 18
仕様 19

点検方法
故障かな？と思ったとき ..... 20〜23
保証とアフターサービス ... 裏表紙

EZ901074407 Y0602-6108(3000)

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠危険 人が死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容。

⚠警告 人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容。

⚠注意 人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される場合。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠危険

1.当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わないでください。

2.電池パックは、火への投入、加熱をしないでください。

3.電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。

4.電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。

5.電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しないでください。

6.電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしないでください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがあります。

7.電池パックは専用充電器以外では充電しないでください。
- 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

8.本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付けてください。
- 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

⚠警告

1.正しく充電してください。
- この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
  直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
- 温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
  電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2.電池パックの端子間を短絡させないでください。
- 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。

3.感電に注意してください。
- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

4.作業場の周囲状況も考慮してください。
- 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください

⚠警告

5.保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

6.防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

7.加工するものをしっかりと固定してください。
- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

8.次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

9.不意な始動は避けてください。
- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

10.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

11.電池パックの液が目に入ったらただちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。

12.使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

13.作業する個所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

14.使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。
- けがのおそれがあります。

15.本体落下防止のため、吊りひもに手を通してご使用ください。また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。
- 材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。

16.使用中は、ビットなどの回転部や切りくずに体または、体の一部を近づけないでください。
- 不意に外れたり破損したドリルなどや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ドリルなどの先端工具は、定期的に交換してください。

17.2パック以上の連続使用はしないでください。
- 本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。

18.密閉された狭い場所で使用しないでください。
- 発煙、発火、破裂などのおそれがあります。

安全上のご注意

⚠注意

1.作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2.子供を近づけないでください。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

3.使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- 充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。

4.無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。

5.作業に合った充電工具を使用してください。
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

6.きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7.充電工具は、注意深く手入れしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8.充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

9.無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

10.調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

11.屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠注意

12.油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

13.損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、その他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

14.充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のないかたが修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

15.先端工具類(ビットなど)や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- 確実でないとはずれたりし、けがのおそれがあります。

16.使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
- 回転部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。

17.作業直後の先端工具類(ビットなど)・ネジ・切りくず・電池端子は高温になっているので触れないでください。
- やけどのおそれがあります。

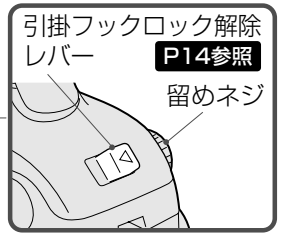
18.細径ドリルは折れやすいので注意してください。
- 飛散して、けがのおそれがあります。

19.本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。
- 熱風によるやけどのおそれがあります。

20.本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しないでください。
- 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。
  また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

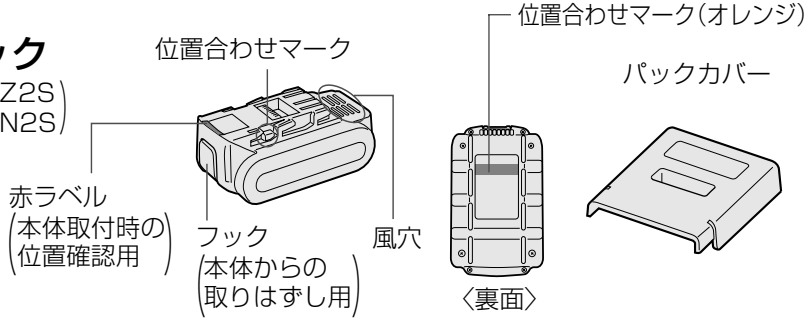
各部のなまえ

本体



電池パック

(EZ7440LZ2S
EZ7440LN2S)



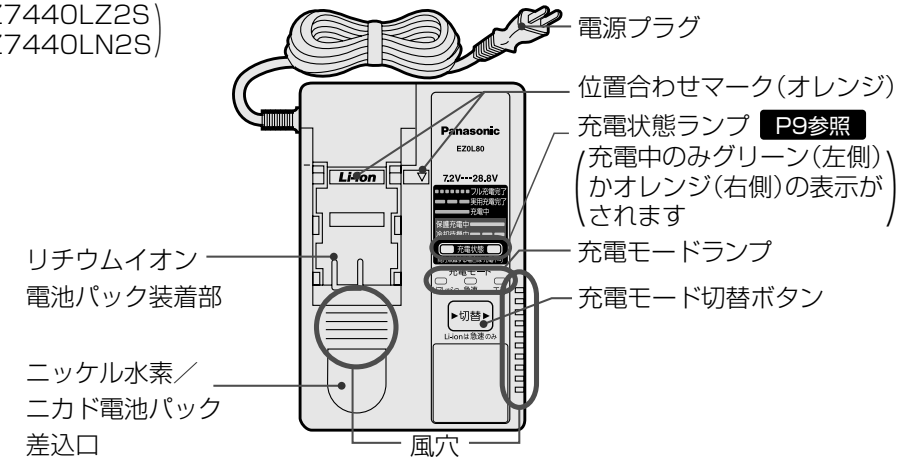
付属品・別売品

商品	付属品			別売品の有無
	EZ7440LZ2S	EZ7440LN2S	EZ7440X	
両頭プラスビット#2 (65mm)	○ (1本入)	○ (1本入)	○ (1本入)	○ EZ9BP221 (2本組)
パックカバー	○ (2個入)	○ (2個入)	—	○ EZ9L80W2787※
充電器	○	○	—	○ EZ0L80
電池パック (リチウムイオン電池)	EZ9L41 ○ (2個入)	EZ9L40 ○ (2個入)	—	○ EZ9L41 EZ9L40
ケース (先端工具収納箱付)	○	○	—	○ EZ9633

※補修用部品としてお買い求めできます。

充電器 P8参照

(EZ7440LZ2S
EZ7440LN2S)



充電する

リチウムイオン電池パックの他、ニッケル水素電池パックやニカド電池パックも充電することができます。

充電の前に

充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パック（充電する場所との温度差が15℃以内）を充電してください。

電池パックの温度が0℃以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

電池パック装着部・差込口内部のゴミを取り除いてから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。裏表紙参照
- 電池パックは2個同時に充電できません。2個装着した場合は一旦両方はずし、一方のみ装着してください。

お知らせ

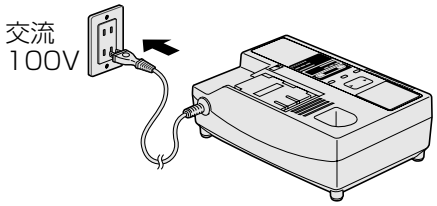
- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も充電モードランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

リチウムイオン電池パックを充電する

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

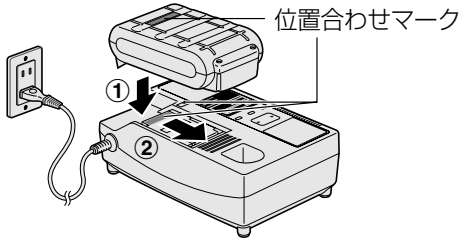
1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのいずれかが点灯します。



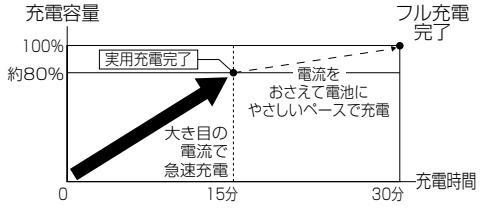
2 電池パックを充電器に装着する

①位置合わせマークを合わせて差し込む
②底に当たったら矢印の方向に引く



- 充電モードランプは「急速」が点灯。
  （リチウムイオン電池パックの充電モードは「急速」のみです。）
- 充電状態ランプが充電状態を表示。P9参照

実用充電とフル充電について



3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

充電状態ランプの見かた

点灯　遅い点滅　速い点滅　消灯

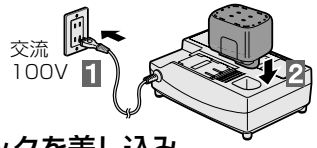
充電状態ランプ グリーン	充電状態ランプ オレンジ	充電状態	
━━	□	充電中	
━ ━ ━	□	実用充電完了（リチウムイオン電池のみ）	
•••••••••	□	フル充電完了	
□	━━	電池保護充電中	・電池パックの温度が低いときや2か月以上使用していなかったときは、電流を下げて電池パックにやさしく充電します。
□	━ ━ ━	冷却待機中	・電池パックの温度が高いときは、充電を行なわずに電池パックを冷却します。
•••••••••	•••••••••	充電不可	・電池パック差込口にゴミがつまっています。 ▶電源プラグを抜いてからゴミを取り除いてください。 ・電池パックが故障しています ▶別の電池パックに交換してください。

ニッケル水素電池パックやニカド電池パックを充電する場合

- お買い上げ時は、電池パックの活性化のため必ずリフレッシュ充電をしてください。

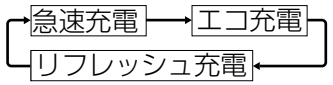
1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのいずれかが点灯。



2 電池パックを差し込み 充電モード表示が点滅中（約30秒）の間に充電モードを選ぶ

- メーカー出荷時、充電モードは急速充電に設定されています。
- 充電モード切替ボタンを押すと順次切り替わります。



- 充電モードは電池パックを充電器に差し込んでから約30秒後に充電モード表示が点灯に変わり確定（記憶）※されます。確定後、充電モードを切り替える場合は、電池パックを一度抜き差ししてください。
- 充電モードを選ばないと前回の充電モードで充電されます。（リフレッシュ充電を除く）

※リフレッシュ充電を選択した場合や充電モード確定前に電源プラグを抜いた場合は記憶されません。

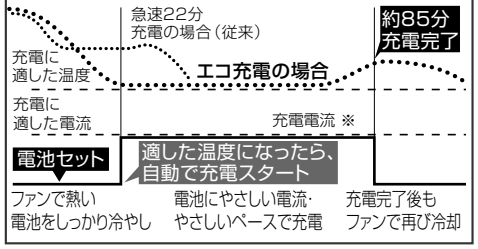
3 充電後は電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

充電モードについて

充電モード		充電時間
エコ充電	電池にやさしくゆっくり充電	約45～85分（EZ9200 EZ9200Sの場合）
急速充電	電流を制御しながら短時間で充電	約22分（EZ9200 EZ9200Sの場合）
リフレッシュ充電	P17参照	約12時間以内

エコ充電とは

充電動作説明　※エコ充電は、急速充電の約1/2の電流です。



準備～作業

準備中のご注意

⚠警告

- **ビットや付属品の取り付け・取りはずしは、必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずしてください。**
  急に動き出し事故のおそれがあります。

作業中に、正逆切替スイッチやインパクト/ドリルドライバー切替スイッチの操作をされる場合はモーターが停止してから行ってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因となります。

作業中のご注意

⚠警告

- **使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。**
  けがのおそれがあります。
- **使用中はビットなどの回転部や切りくずに体または体の一部を近づけないでください。**
  不意に外れたり破損したりしたビットや切りくずが当たって、けがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。
- **本体落下防止のため、吊りひもに手を通してお使いください。**
  また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。
  材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。

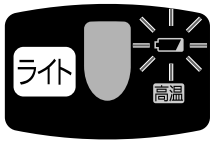
⚠注意

- **本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。**
  熱風によるやけどのおそれがあります。
- 本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。故障の原因になります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤動作をおこす可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

お知らせ機能について

電池切れお知らせランプ

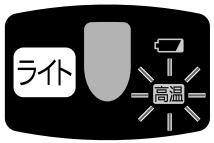
- **電池残量が少なくなると過放電防止機能がはたらき、動作が停止します。**
  操作パネル内の電池切れお知らせランプが点滅します。



すぐに電池パックを充電してください。

高温お知らせランプ

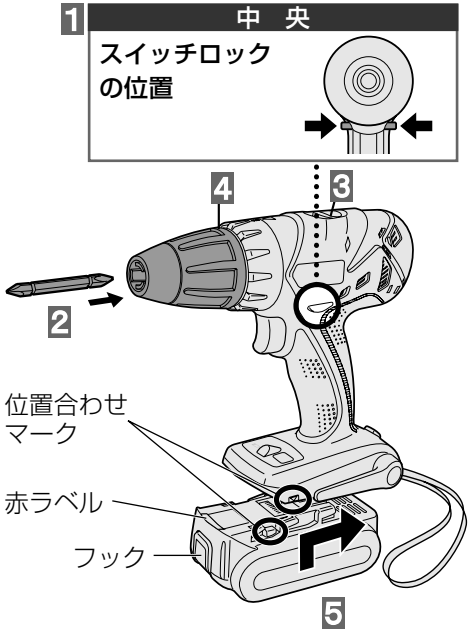
- **電池パックが高温になると保護機能がはたらき、動作が停止します。**
  操作パネル内の高温お知らせランプが点滅します。



作業を中断し、約30分以上放熱させ、高温お知らせランプが消灯してから使用してください。

また、保護機能がくり返しはたらくような作業は行わないでください。

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



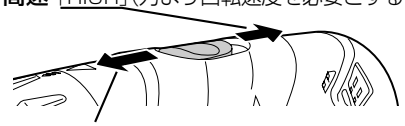
2 ビットを取り付ける キイレスチャックをカチカチと音がしなくなるまでしっかり締め付けて、先端工具を本体と固定する

- 軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

※チャックの締め付け力が弱いと作業中にチャックがゆるみ先端工具が外れ、けがのおそれがあります。

3 回転数切替ハンドルで高速/低速を選ぶ

高速「HIGH」(力より回転速度を必要とする作業)



低速「LOW」(大きな力を必要とする作業)

■ 低速「LOW」の選定目安

木工穴あけ	径φ22mm以上の木工ドリル(深さ～120mm)
金工穴あけ	径φ22mm以上のホールソー(厚さ～2.3mm)

- 大きな力が必要な作業の場合は「LOW」に合わせてご使用ください。「HIGH」で使用すると、モータが焼損する原因になります。
- 目安は相手部材の硬さ・ドリルの状態によって変わります。
- 連続作業のときは、1パック使用後本体を冷ましてからご使用ください。

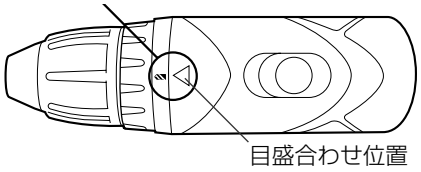
クラッチ目盛選定目安

目盛	トルク	作業の目安
1	約0.5N·m(約 5kgf-cm)	●小ネジの締付 ●端子ネジの締付 ●柔かい天井材やベニヤ板などのネジ締付
5	約1.4N·m(約14kgf-cm)	
9	約2.4N·m(約24kgf-cm)	
14	約3.5N·m(約36kgf-cm)	●かたい木材へのネジ締付など ●金工用ネジ(テクスネジ)締付など
18	約4.4N·m(約45kgf-cm)	
◥◣	高速:約 8.8N·m(約 90kgf-cm)	●強力なネジ締め ●ドリル使用 ●ネジをゆるめる作業
	低速:約26.0N·m(約265kgf-cm)	

※ ネジの取付状態、材質、ネジ形状などにより、作業に必要な締付力がかわります。
※ ネジをゆるめるときは目盛を「◥◣」に合わせてください。
〔クラッチが働いた場合、キイレスチャックの取り付けがゆるんで、ビットがはずれるおそれがあります。P12参照〕

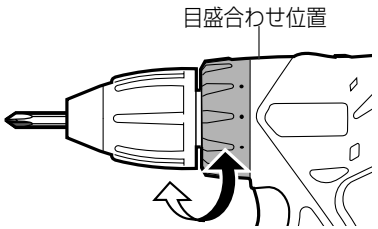
準備～作業(つづき)

4 〈穴あけ作業の場合〉クラッチハンドルを ドリルモードに合わせる



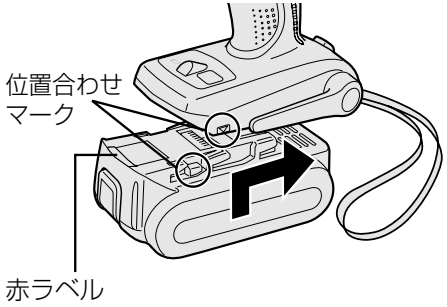
〈ネジ締めの場合〉
クラッチハンドルで1～18に目盛を合わせる

- 作業に応じて約0.23N·m(約2.36kgf.cm)きざみで18段階に調整できます。

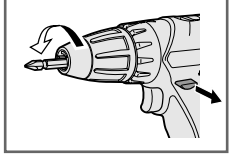
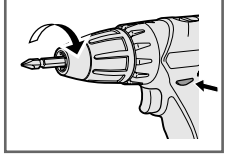


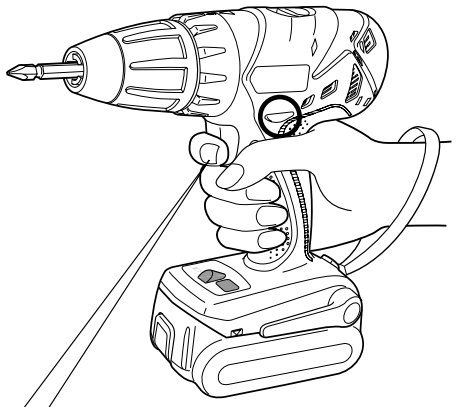
5 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

- 電池パックが本体に固定されるまで(赤ラベルが見えなくなるまで)スライドさせてください。



6 正逆切替スイッチで正転／逆転を決めてスイッチを入れる

正　転	逆　転
	



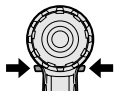
- スイッチを引き込むに従って回転数が上がる。(センター決めのときは、ゆっくりスタートする)
- スイッチをはなす(スイッチ切)とブレーキが作動。

- 正逆切替スイッチの操作はモーターが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

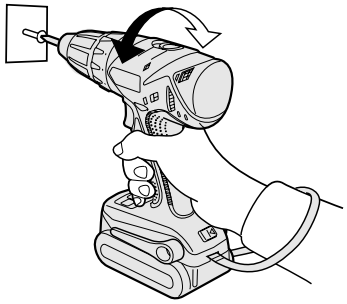
手廻しドライバーとして使うとき

手締め機能があります。

1 スイッチを切って、正逆切替スイッチを中央にする

中　央
スイッチロックの位置 

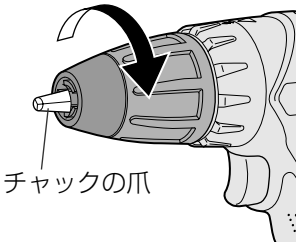
2 本体を手でまわす



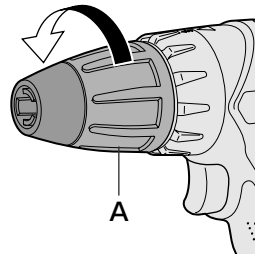
- 締付確認時や締付のかたいネジをゆるめるときに便利です。
- ボックスドライバー(M6ボルト以上)で無理に締め付けられたネジや、サビついたネジを無理に取りはずしたりしないでください。(手締めトルク最大約22.6N·m(約230kgf-cm)まで)

本体からキイレスチャックの取付部がゆるんだとき

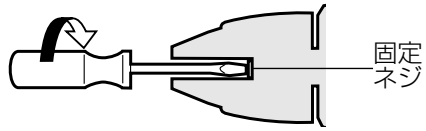
① 本体を固定し、キイレスチャックを正面から見て右方向に締め付ける。



② A部を正面から見て左方向に回し、チャックの爪を開く。

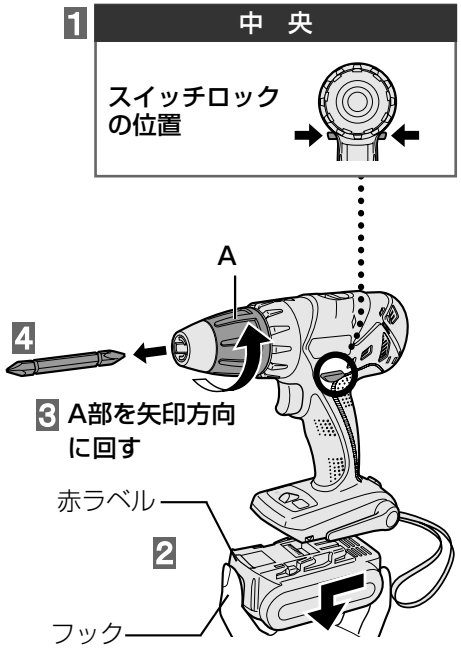


③ キイレスチャック内部の固定ネジ(左ネジ)をマイナスドライバーで正面から見て左方向に強く締め付ける。



作業終了

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



2 フックを押しながら電池パックを本体前方にスライドさせて、電池パックをはずす

- 電池パックを本体から取はずしたら電池端子部分への塵·埃の付着防止のため、すみやかにパックカバーを取り付けてください。

3 キイレスチャックA部を矢印方向に回してゆるめる

4 ビットを取りはずす

⚠警告

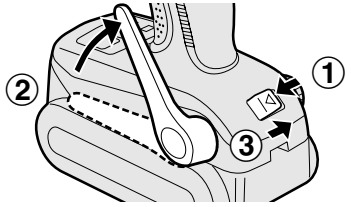
- **引掛フックは本体に留めネジでしっかり固定してください。**
  フックの取り付けが不完全なまま使用すると、事故のおそれがあります。
  定期的に留めネジの緩みを確認し緩んでいたら締め直してください。
- **引掛フックご使用のときは、本体の落下に十分注意してください。**
  引掛フックは本体を確実に固定するものではありません。本体が落下し、事故のおそれがあります。
- **引掛フックご使用のときは、飛んだりはねたりしないでください。**
- **引掛フックはフックの角度が変わらないことを確認してからご使用ください。**
- **引掛フックをご使用中は、引掛フックロック解除レバーを操作しないでください。**
  フックが抜けて本体が落下し、事故のおそれがあります。
- **引掛フックを使用しないときは、収納位置に戻してください。**
  引掛フックが不意に引っ掛かり、事故のおそれがあります。

⚠注意

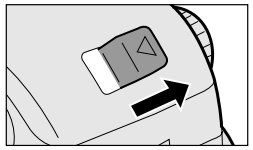
- **引掛フックを使って本体を腰ベルトに引っ掛けるときは、ドライバービット以外は取り付けしないでください。**
  ドリルビットなどの先端がとがったものを取り付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。

引掛けフックの使いかた

① 引掛フックロック解除レバーを矢印方向にスライドさせながら
② 引掛フックを上げる

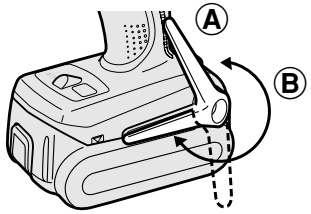


③ 図の位置で引掛フックロック解除レバーを離し、レバーが元の位置に戻っていることをご確認ください。

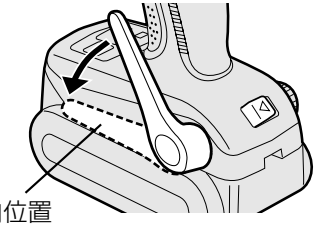


④ 引掛フックが固定されているかご確認ください。

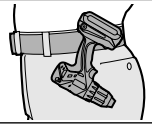
- Ⓐの位置で確実に固定してご使用ください。
  Ⓑの範囲では使用しないでください。



■収納位置に戻すときは…
①を行ない、引掛フックを下げる。



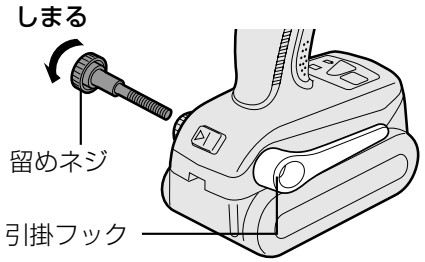
引掛フックの左右の付け替え



引掛フックは、
左右どちらでも
取り付け可能。

① 引掛フックを収納位置に戻す。※
② メダル形状のものを使用して留めネジをはずす。

③ 引掛フックを反対側に取り付け、留めネジをメダル形状のもので最後までしっかりと締め付ける。



※ 引掛フックは収納位置に戻さないと、付け替えができません。

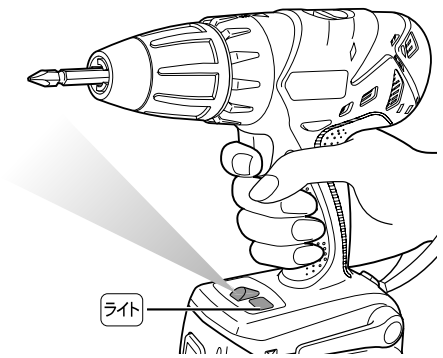
LEDライトの使いかた

奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

⚠注意

- **LEDライトは補助ライトです。懐中電灯としては使用しないでください。**
- **十分な明るさを確保していないのでこのライトを使って暗い場所を移動しないでください。**
  事故のおそれがあります。
- **ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。**
  ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

ライトを押すたびにライトが点灯／消灯する



- 電池パック取付直後やLEDライト点灯時5分以上/消灯時1分以上何も操作しない状態で放置すると自動的に消灯します。スイッチを引き込んで一度動作させてください。
- ライトは微少電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。

お手入れ・保管

お手入れ

チャック内部のゴミを取り除く

- チャックの動作がかたくなるのを防ぐため。

やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。
（変色・変形の原因）

定期点検の実施

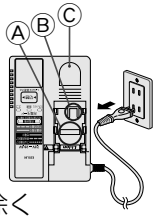
- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが損傷していないか定期的に点検してください。

充電器の電池パック装着部・差込口内部のゴミを取り除く

- 電源プラグをコンセントから抜く。

リチウムイオン電池パック

- カバーを押さえて端子Ⓐ とⒷを露出させる。
- Ⓐ：ブラシなどで端子に無理な力がかからないようにゴミを取り除く。
- Ⓑ：布などでゴミを取り除く



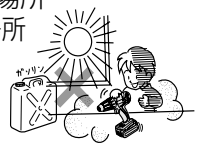
ニッケル水素・ニカド電池パック

- Ⓒ：内部の端子を変形させないように注意してゴミを取り除く。

保管

以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



電池パックについて

⚠警告

- **電池パックを火中に投入しないでください。**
  破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、充電せずに**そのまま保管**してください。
- 熱くなった電池パックは、温度が下がってから充電してください。

電池パックの寿命

寿命の目安/処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは電池パックの寿命です。
新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックを廃棄の際はお買い求めの販売店へお返しください。
（電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。）

Li-ion
リチウムイオン電池はリサイクルへ

本製品の使用電池

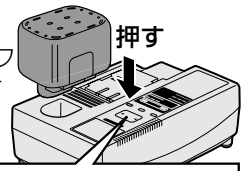
- 名称：密閉型リチウムイオン蓄電池（LNタイプCGR26650）
- 公称電圧：3.6V
- 数量：4本

リフレッシュ充電のお願い
（ニッケル水素、ニカド電池の場合）

- お買い求めのとき。
- 以前より作業量が減ったと感じたとき。
- 使用後、充電して保管したが、2か月以上放置した電池を使用するとき。

▼

性能回復のため、リフレッシュ充電をしてください。



▸切替◂ を押してリフレッシュ充電を選ぶ。（リフレッシュがグリーン点灯）

▼

12時間以内にリフレッシュ充電完了。

エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。

- 電池の状態に合わせて冷却ファンで電池を冷やしながらリフレッシュ充電を行なうためファンの回転数が途中で下がり、送風量が少なくなります。
- リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なうおそれがあります。

電池パックを長時間使用しないときは

電池パックの種類に合わせて、下記のように保管してください。

電池パックの種類	保管の前に	再使用の前に
リチウムイオン	充電せずに保管	フル充電
ニッケル水素	フル充電してから保管	リフレッシュ充電
ニカド	使い切ってから保管※	リフレッシュ充電

※「使い切る」とは、作業ができなくなる状態のことです

能力

●高速作業を連続的に行うと本体が熱くなることがあります。
●低速を高速で行うと本体の故障の原因になります。

作業範囲

作業	相手部材		先端	作業範囲	回転数切替ハンドル
穴あけ	木材	米松	木工ドリルビット	～φ21　板厚120mm	高速
				～φ35　板厚120mm	低速
	鉄	冷間圧延鋼板(SPC)	金工ドリルビット	～φ10　板厚1.6mm	高速
				～φ13　板厚2.3mm	低速
			金工ホールソー	～φ21　板厚1.6mm	高速
				～φ33　板厚2.3mm	低速
ネジ締め	木材	米松	木工用ネジ	～φ4.2	高速
				～φ6.8	低速
	鉄	冷間圧延鋼板(SPC)	テクスネジ	～φ6×2.3mm	高速

1回のフル充電による作業量(電池パックEZ9L41、EZ9L40使用時/周囲温度20℃)

※1 数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。

作業	相手部材			作業サイズ	作業量		回転数切替ハンドル
					EZ9L41	EZ9L40	
穴あけ	木材	米松	厚み120mm	φ18	約70孔	約55孔	高速
			厚み40mm	φ30	約110孔	約85孔	低速
	鉄	冷間圧延鋼板(SPC)	板厚 1.6mm	φ21(ホールソー)	約18孔	約15孔	高速
			板厚 1.6mm	φ33(ホールソー)	約15孔	約12孔	低速
ネジ締め	木材	赤松+石膏ボード	ボード厚 12.5mm	φ3.8×28mm (ボード用スクリューネジ)	約880本	約700本	高速
		米松+サッシ	サッシ厚 1mm	φ4.1×25mm (サッシ用ネジ)	約880本	約700本	高速
	鉄	冷間圧延鋼板(SPC)	板厚 1.6mm	φ3.5×13mm	約630本	約500本	高速
				φ4×13mm	約560本	約450本	

弾性体締付トルク

Lowモード	26N·m(265kgf·cm)※2
Highモード	8.8N·m(90kgf·cm)※2

※2 弾性体締付トルクとは、ネジ締め、穴あけなどの能力を示すトルクをより実作業に近い条件で計測するために、工具とトルク測定器の間にバネを入れて測定した締付トルクです。

仕様

本　体

モータ電圧	DC14.4V	質 量(重量)	EZ9L41装着時 約1.6kg EZ9L40装着時 約1.55kg
回 転 数	高速　:約200～1350回転／分 低速　:約60～400回転／分	大 き さ (概略寸法)	全長　全高　全幅 189×221×φ60(mm) ※電池パック最大幅85(mm)
キイレスチャック	把握径φ1.5～φ13mm		

充電器（EZ0L80）

電　源	AC100V 50/60Hz	消費電力	約198W	質量(重量)	約0.96kg

充電可能な電池パック

※(S)の付く品番は、品番の末尾に「S」が付くタイプと付かないタイプの2種類があります。
※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
※エコ充電の充電時間は充電前冷却時間を含みます。
※EZ9061は中間アダプターEZ0890(別売品)が必要です。
※ 表には、販売中の電池パックと販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。

電池パックの種類	材料	リチウムイオン電池	
	容量	3.3Ah	3Ah
	タイプ	LZ	LN
電池電圧	28.8V	EZ9L81	EZ9L80
充電時間	実用	約27分	約22分
	フル	約50分	約40分
電池電圧	14.4V	EZ9L41	EZ9L40
充電時間	実用	約19分	約15分
	フル	約38分	約30分

電池パックの種類	材料	ニッケル水素電池		ニカド電池				
	容量	2Ah	3Ah	1.2Ah		1.7Ah	2Ah	
	タイプ	H	N	C	D	E	F	V
電池電圧	7.2V	EZ9168(S)	—	EZ9066	EZ9065 EZ9061	EZ9165	—	—
	9.6V	EZ9188(S)	—	EZ9086	EZ9080	—	EZ9186	EZ9187
	12V	EZ9108(S)	EZ9200(S)	EZ9006	EZ9001	EZ9101	EZ9106	EZ9107
充電時間	急速	約15分	約22分	約9分		約12分	約15分	
	エコ	約30～70分	約45～85分	約20～60分		約25～65分	約30～70分	
電池電圧	15.6V	—	EZ9230(S)	—	—	—	EZ9136	EZ9137
充電時間	急速	—	約27分	—	—	—	約16分	
	エコ	—	約45～85分	—	—	—	約30～70分	
電池電圧	24V	—	EZ9210(S)	—	—	—	EZ9116	EZ9117
充電時間	急速	—	約30分	—	—	—	約20分	
	エコ	—	約45～85分	—	—	—	約30～70分	

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症状	考えられる原因	処置
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
充電時	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電する。テレビ・ラジオから離して充電する。
充電時	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。 P16参照
充電時	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	電池パックが熱くなっている。	周囲温度が0～40℃の場所で充電する。電池パックの温度が下がると自動的に充電を開始する。
充電時	充電中に冷却待機中の状態になる。(オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックが熱くなっている。	周囲温度が0～40℃の場所で充電する。電池パックの温度が下がると自動的に充電を開始する。
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(高温異常／電池切れお知らせランプが点滅)	電池パックが高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、本体または電池パックの温度が下がってから使用する。
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(高温異常／電池切れお知らせランプが点滅)	電池パックを充電していない。	充電する。 P8参照
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(高温異常／電池切れお知らせランプが点滅)	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
作業時	操作パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パック取付直後や、LEDライト点灯時5分以上/消灯時1分以上何も操作していない。	スイッチを引く。
作業時	操作パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パック装着後、1回も作業していない。	スイッチを引く。
作業時	操作パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パックを充電していない。	充電する。 P8参照
作業時	操作パネルのボタンを押しても操作できない。(ライトが点灯しない)	電池パックが故障している。	新しい電池パックを購入する。 P7参照
作業時	フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	温度が低い場所(0℃以下)で保管した電池パックを使用した。	再度充電し、充電完了後に使用する。
作業時	操作パネルの表示が正しくない。	高圧線の近くなど、電磁波の影響をうけている。	故障ではありません。ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。
作業時	スイッチを切ると、停止音がする。	ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
作業時	フル充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。	ビット・ドリルなどのネジの頭がはずれやすい。先端工具に消耗など不具合がある。	新しい先端工具と交換する。(P7参照 またはカタログをご覧ください)
作業時	フル充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。	電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入する。 P7参照
作業時	フル充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。	冷えた電池パック(0℃以下)を暖かい場所で充電した。	電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がってから再度充電する。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

- 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症　状	考えられる原因	処　置
作業時	ネジが締まりきらない。	電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入する。 P7参照
		電池パックの残量が少なくなった。	充電する。 P8・17参照
		電池パックを2か月以上放置していた／または購入したばかりである。	
その他	● 電源プラグをコンセントに差し込んでも「充電モード」ランプのいずれかが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に「充電モード」ランプも「充電状態」ランプも点灯・点滅しない。 ● 「冷却待機中」（オレンジ：遅い点滅）後、1時間以上しても「充電中」（グリーン：点灯）にかわらない。 ● 「充電中」（グリーン：点灯）後、1時間以上充電しても「フル充電完了」（グリーン：速い点滅）にならない。 ● 「リフレッシュ充電」を開始後、13時間以上充電しても「充電状態」ランプが「フル充電完了」（グリーン：速い点滅）にならない。 ● 操作パネル上のすべてのランプ表示が点滅し、スイッチを引いても動かない。		

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

● 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

愛情点検　**長年ご使用の充電ドリルドライバーの点検を**

こんな症状はありませんか？	お願い
・本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。 ・充電器のコードが損傷している。 ・動作中に異常な音がする。	故障や事故防止のために使用を中止し、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずして必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体・充電器6か月間
（ただしビット・電池パック・ケースは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。）

■ 補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、この充電ドリルドライバーの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

20～23ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電池パックをはずして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	充電ドリルドライバー	お買い上げ日	年　月　日
品　　番	EZ7440（LZ2S・LN2S・X）	故障の状況	できるだけ具体的に

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365（ハイ 365日）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。
大阪 ☎06-6906-1090
〒571-8686 大阪府門真市門真1048 パナソニック電工テクノサービス(株)
札幌 ☎011-261-6401 (転)
名古屋 ☎052-551-7900 (転)
東京 ☎03-5392-7190 (転)
福岡 ☎092-622-0531 (転)

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787
Open : 9:00-17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ご注意 ・(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。
0810

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
製造元 パナソニック電工株式会社 パワーツール事業部
〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008
パナソニックホームページ http://panasonic.jp/